

北海道文教大学大学院こども発達学研究科 修士論文の審査体制と認定・評価基準に関する申し合わせ

1 審査体制

「学位論文に関する取り扱い細則」第7条に基づき審査委員会を組織する。

2 認定・評価基準

こども発達学研究科は教育の実際に即した研究を通して、実践的能力の向上を計ることを目的としている。特にこどもの発達について、多様なニーズに対応し、幼児期、児童期の連続性を視野に収めて研究することを主たる課題としている。このため、必要な知見と方法は、教育学、心理学、特別支援教育学に及んでおり、修士論文は各分野の特性に基づいて評価し、本研究科の理念と目的に合致するかという観点から審査がなされる。

審査にあたっては、以下の基準によるものとする。

- (1) 課題設定の適切性。先行研究の概括の上に、当該分野における課題の意義が明確にされていること。
- (2) 調査・実験方法の適切性。課題を解明する上で、調査・実験が適切に計画され、実施されていること。
その際、研究倫理上の配慮がなされていること。
- (3) 論証・論述の適切性。調査・実験の結果の解釈や論証、及び結論に至る論述に、誤りや飛躍がなく妥当であること。
- (4) 独創性。全体として一定の独創性があり、当該分野の研究もしくは教育実践に貢献するものであること。

3 中間発表会・公開発表会等について

審査委員会は、以下の項目について中間発表会、公開発表会（最終試験）における質疑応答を含めて修士論文を審査し、総合的に可否を判断する。

(1) 主査教員と副査教員の査読

- ① 研究の意義や目的を十分に理解して明確に記述されているか。
- ② 論文完成までの過程において、適切な研究方法、論証方法を採用して具体的な分析・考察がなされているか。
- ③ 論文の構成が適切で、読みやすく記述されているか。
- ④ 文献の引用や学内外における調査が必要とされるテーマについては、その文献解読や調査研究に必要な知識と能力が十分なレベルに達しているか。

(2) 中間発表会

- ① 発表態度、言語表現が適切であるか。
- ② 修士論文研究の意義や目的を正しく理解し、論文作成に当たっての問題意識が明確であるか。
- ③ 設定したテーマに関するこれまでの成果について正しく理解しているか。
- ④ 論文完成までの計画について、具体的に表示できたか。

(3) 公開発表会（最終試験）・口頭試問

- ① 研究の意義や目的を正しく十分に理解しているか。
- ② 限られた時間内に適切に伝え、結果を分かりやすく表現できたか。
- ③ 質問に対して適切かつ正確に応答できたか。

- ④ 結果に至るまでの過程を十分に理解しているか。
- ⑤ 結果に対する考察を論理的かつ明快に表明できたか。

(4) 審査委員会（最終合否判断）

- ① 修士としての十分な知識を修得し、問題を的確に把握し、解明する能力を身につけているか。
- ② 設定したテーマの研究について、問題を的確に把握し、適切な研究方法、調査方法を採用しているか。
- ③ 論文の記述（本文、図表、引用、文献など）が適切で、結論に至るまで首尾一貫した論理構成になっているか。
- ④ 論文が理論的見地または実証的見地から見て、独自の価値を有するものとなっているか。

以上を主査が記録し、研究科内で保管するものとする。

附 則 この申し合わせは、令和元年12月4日より適用する。

附 則 この申し合わせは、令和3年4月1日より適用する。